



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場会社名 プリマハム株式会社 上場取引所 東・大  
 コード番号 2281 URL <http://www.primaham.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)松井 鉄也  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役第一管理本部長 (氏名)前田 茂樹 (TEL)03-6386-1800  
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	208,947	9.2	6,799	11.6	7,069	12.4	4,709	17.0
23年3月期第3四半期	191,409	△1.7	6,092	5.2	6,290	3.5	4,024	19.5

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 5,501百万円(26.7%) 23年3月期第3四半期 4,341百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	21.04	—
23年3月期第3四半期	17.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	113,425	36,417	27.4
23年3月期	97,682	31,960	27.3

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 31,110百万円 23年3月期 26,691百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	2.00	2.00
24年3月期	—	—	—		
24年3月期(予想)				2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	272,000	8.4	6,500	△3.9	6,600	△5.7	4,000	25.2	17.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 ( )、除外 一社 ( )

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年3月期3Q	224,392,998株	23年3月期	224,392,998株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	565,862株	23年3月期	559,012株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

24年3月期3Q	223,830,294株	23年3月期3Q	223,876,893株
----------	--------------	----------	--------------

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災による甚大な被害、その後の震災に伴う電力不足や放射性物質問題、更に円高、株安、欧州金融危機など引き続き厳しい経済環境となりました。当業界におきましてもセシウム問題による国産牛肉の消費減退、消費者の低価格志向による販売価格の下落とともに、原材料価格の高騰など、きわめて厳しいものとなりました。

このような状況のなか、当社グループは「健康で豊かな食生活を創造するために安全・安心な商品を提供し、社会と食文化の発展に貢献していく」という基本的な考えのもと、諸施策に取り組み収益の確保に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は2,089億47百万円（前年同期比9.2%増）、営業利益は67億99百万円（同11.6%増）、経常利益は70億69百万円（同12.4%増）、四半期純利益は47億9百万円（同17.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### <食肉事業本部>

食肉事業本部においては、引き続き低価格商品が中心となるマーケット展開や、国産牛肉の消費減退といった環境のなか、当社グループは輸入牛肉や豚肉のオリジナルブランド商品の安定供給、販売拡大に努めた結果、売上高は676億7百万円（前年同期比2.6%増）となり、セグメント利益は14億27百万円（同17.9%減）となりました。

#### <加工食品事業本部>

##### (ハム・ソーセージ部門)

ハム・ソーセージ部門においては、「香薫ウインナー」や「連タイプのロースハム・ベーコン」「生ハム」などの重点商品の拡販に注力するとともに、新商品では「味わい造りウインナー」やジョンソンヴィル社との販売代理店契約に基づく商品の育成・販路拡大に努めました。生産面においては、引き続き生産ラインのスリム化・効率化を進め、コスト削減に努めました。

##### (加工食品部門)

加工食品部門におきましては、主力のハンバーグ、から揚げ、焼き鳥などの商品を拡販してまいりました。業務用商品においてもお客様のニーズに応えるべく積極的に商品開発を行い販路の拡大に努めてまいりました。

以上の結果、加工食品事業本部（ハム・ソーセージ部門及び加工食品部門）においては、消費者の低価格志向及び同業他社との競合激化という厳しい環境ではありましたが、売上高は1,410億43百万円（前年同期比12.6%増）となり、セグメント利益は53億35百万円（同30.3%増）となりました。

#### <その他>

その他事業の売上高は2億97百万円となり、セグメント利益は36百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ157億42百万円増加の1,134億25百万円となりました。これは主に、売上債権が121億23百万円、有形固定資産が25億21百万円それぞれ増加したことによるものです。

#### (負債)

負債については、前連結会計年度末に比べて112億85百万円増加の770億8百万円となりました。主に、支払手形及び買掛金が96億3百万円増加した一方、短期借入金が15億55百万円、退職給付引当金が9億93百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

(純資産)

純資産については、前連結会計年度末に比べて、剰余金の増加により44億57百万円増加し、364億17百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べて6億92百万円減少し104億5百万円となりました。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

税金等調整前四半期純利益68億97百万円の計上と減価償却費30億73百万円の計上により営業活動における資金は66億1百万円増加(前年同四半期は69億61百万円増加)しました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

生産設備更新および生産性向上、品質安定のため54億45百万円の有形固定資産を取得したことにより投資活動による資金は55億91百万円減少(前年同四半期は32億67百万円減少)しました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

長期借入金38億円の調達があったものの、短期借入金15億27百万円、長期借入金29億14百万円の各々返済および配当金4億44百万円の支払などにより財務活動における資金は16億91百万円減少(前年同四半期は40億5百万円減少)しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、平成23年11月4日より変更しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(連結子会社の事業年度の変更等)

①連結子会社の事業年度の変更

従来、子会社の決算日と連結決算日が3か月を超えないことにより、各子会社の正規の決算を基礎として連結決算を行っていた会社において、当期より決算期を3月31日に統一したことに伴い、当該各子会社については、各四半期連結決算日(当第3四半期連結会計期間は12月31日)までの個別財務諸表を連結しております。

②連結子会社の仮決算方式への変更

一部の子会社については、第1四半期連結会計期間より、四半期連結決算日において仮決算を行っております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,354	10,723
受取手形及び売掛金	22,775	34,898
商品及び製品	8,206	9,900
仕掛品	336	225
原材料及び貯蔵品	898	1,194
その他	3,535	3,567
貸倒引当金	△42	△18
流動資産合計	47,065	60,490
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,031	18,438
土地	18,639	18,729
その他（純額）	7,998	9,023
有形固定資産合計	43,670	46,191
無形固定資産	567	598
投資その他の資産		
投資有価証券	4,082	3,651
前払年金費用	—	356
その他	2,408	2,311
貸倒引当金	△110	△174
投資その他の資産合計	6,380	6,144
固定資産合計	50,617	52,934
資産合計	97,682	113,425

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,344	33,948
短期借入金	6,455	4,900
1年内返済予定の長期借入金	3,472	3,720
未払法人税等	760	1,166
賞与引当金	991	424
役員賞与引当金	30	—
資産除去債務	18	—
その他	7,692	11,808
流動負債合計	43,765	55,968
固定負債		
社債	210	125
長期借入金	12,061	12,695
退職給付引当金	4,806	3,813
役員退職慰労引当金	132	—
資産除去債務	84	85
その他	4,662	4,320
固定負債合計	21,957	21,040
負債合計	65,722	77,008
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,363	3,363
資本剰余金	3,964	3,964
利益剰余金	17,111	21,203
自己株式	△61	△61
株主資本合計	24,377	28,470
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	443	444
繰延ヘッジ損益	△3	△5
土地再評価差額金	2,169	2,563
為替換算調整勘定	△295	△361
その他の包括利益累計額合計	2,314	2,640
少数株主持分	5,268	5,306
純資産合計	31,960	36,417
負債純資産合計	97,682	113,425



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	191,409	208,947
売上原価	156,318	172,563
売上総利益	35,090	36,383
販売費及び一般管理費	28,998	29,584
営業利益	6,092	6,799
営業外収益		
受取利息及び配当金	93	94
持分法による投資利益	78	19
事業分量配当金	94	109
その他	427	572
営業外収益合計	693	795
営業外費用		
支払利息	309	242
貸倒引当金繰入額	99	49
その他	86	233
営業外費用合計	495	525
経常利益	6,290	7,069
特別利益		
投資有価証券売却益	8	0
負ののれん発生益	—	159
その他	14	24
特別利益合計	23	183
特別損失		
固定資産売却損	219	5
固定資産除却損	163	66
減損損失	109	177
その他	113	105
特別損失合計	606	355
税金等調整前四半期純利益	5,707	6,897
法人税等	1,119	1,678
少数株主損益調整前四半期純利益	4,588	5,219
少数株主利益	564	509
四半期純利益	4,024	4,709

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,588	5,219
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△171	△1
繰延ヘッジ損益	1	△6
土地再評価差額金	—	393
為替換算調整勘定	△75	△102
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△1
その他の包括利益合計	△247	281
四半期包括利益	4,341	5,501
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,804	5,035
少数株主に係る四半期包括利益	536	465

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,707	6,897
減価償却費	3,018	3,073
減損損失	109	177
負ののれん発生益	—	△159
投資有価証券評価損益(△は益)	0	8
貸倒引当金の増減額(△は減少)	103	40
賞与引当金の増減額(△は減少)	△165	△596
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△642	△993
前払年金費用の増減額(△は増加)	—	△356
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6	—
受取利息及び受取配当金	△93	△94
支払利息	309	242
投資有価証券売却損益(△は益)	△6	51
持分法による投資損益(△は益)	△78	△19
有形固定資産売却損益(△は益)	211	4
有形固定資産除却損	163	66
売上債権の増減額(△は増加)	△9,686	△12,123
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△22	△235
たな卸資産の増減額(△は増加)	263	△1,878
仕入債務の増減額(△は減少)	8,372	9,603
その他の流動負債の増減額(△は減少)	1,768	4,003
未払消費税等の増減額(△は減少)	△200	163
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	74	—
その他	—	13
小計	9,212	7,889
利息及び配当金の受取額	106	105
利息の支払額	△320	△265
法人税等の支払額	△2,037	△1,128
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,961	6,601

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,620	△5,445
有形固定資産の売却による収入	34	112
無形固定資産の取得による支出	△248	△209
投資有価証券の取得による支出	△33	△22
投資有価証券の売却による収入	23	10
関係会社株式の売却による収入	—	182
子会社の自己株式の取得による支出	—	△198
貸付けによる支出	△357	△38
貸付金の回収による収入	143	74
敷金の差入による支出	△16	△19
敷金の回収による収入	30	117
定期預金の増減額 (△は増加)	△31	△70
長期前払費用の取得による支出	△150	△50
その他	△40	△33
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,267	△5,591
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△239	△1,527
リース債務の返済による支出	△107	△147
長期借入れによる収入	1,900	3,800
長期借入金の返済による支出	△4,680	△2,914
社債の償還による支出	△188	△209
割賦債務の返済による支出	△175	△176
配当金の支払額	△443	△444
少数株主への配当金の支払額	△67	△69
自己株式の取得による支出	△5	△2
自己株式の売却による収入	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,005	△1,691
現金及び現金同等物に係る換算差額	△56	△11
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△368	△692
現金及び現金同等物の期首残高	10,714	11,098
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,346	10,405

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益書計上 額 (注2)
	食肉事業 本部	加工食品 事業本部	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	65,918	125,221	191,140	269	191,409	—	191,409
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,191	26	18,217	34	18,252	△18,252	—
計	84,110	125,248	209,358	303	209,661	△18,252	191,409
セグメント利益	1,738	4,093	5,831	260	6,092	0	6,092

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報処理、商品検査事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益書計上 額 (注2)
	食肉事業 本部	加工食品 事業本部	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	67,607	141,043	208,650	297	208,947	—	208,947
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	20,053	33	20,087	37	20,125	△20,125	—
計	87,661	141,076	228,737	335	229,072	△20,125	208,947
セグメント利益	1,427	5,335	6,763	36	6,799	—	6,799

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報処理、商品検査事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「加工食品事業本部」セグメントにおいて、159百万円の負ののれん発生益を計上しております。  
これは当社の子会社プライムデリカ㈱が同社の株式を少数株主から取得したことによるものです。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。